

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

- 国際主題 "The Power of One" 「一つとなる力」
 アジア区主題 "The Power of One" 「一つとなる力」
 西日本区主題 「すべての命を大切に」 --- いのち・平和・環境 ---
 京都部主題 豊かな心 熱き思い --- 555実現に向けて ---
 メネット主題 「メネットのねがい」を広げ、その喜びを共に分かちあいましょ

クラブ主題
語り合おう
ワイズで
思いやり 笑顔

「わが子よ、主の鍛錬を軽んじてはいけない。主から懲らしめられても、力を落としてはいけない。なぜなら、主は愛する者を鍛え、子として受け入れる者を皆、鞭打たれるからである。」

ヘブライ人への手紙12章5・6節

会長 金丸 太一郎
 副会長 三村 良行
 書記 古川 安雄
 会計 小泉 洋

「一年を振り返って」

会長 金丸 太一郎



今期クラブスローガン「子供達の未来のために」、行動指標「家族と一緒に」のもと、会長主題「語り合おうワイズで」副題「思いやり・笑顔」で1年スタートさせていただきました。スタート早々、退会者が出てこの1年どうなる事かと不安な気持ちでした。しかし、これもクラブにとっての問題点を考えさせてくれる良い機会と前向きに捕え1年間やらせて頂きました。

クラブ事業も、「子供達の未来のために」、又25周年事業の一環としてサバエ緑化事業の植樹を実施しました。そして、今期から通年事業としてサバエキャンプ場での星空観望会を実施して多くの子供達にキャンプ場を利用してもらえればと思います。メンバー獲得の一環として、メネット会との協賛で、NPO法人稀少難病患者支援事務局（ソルド）常務理事、中西亜紀様をお迎えして100人例会を実施しました。交流事業も、東広島クラブとDBCを結び、又みやびクラブとも交流して他クラブメンバーの活性化をはかりました。会長に成り、他クラブの多くのメンバーとお会い出来た事は私にとって大変貴重な財産に成りました。これも、一重にワイズメンズクラブに入っていた御蔭と感謝します。

私が1年会長を務めさせていただいて、他クラブとの交流が大切だと感じました。他クラブと交流することにより、自クラブの良い点や、反省点が見えてきて又、他クラブの良いところを自クラブに取り入れる事によりクラブの活性化が図れると思います。やはり、一人の考えには限界があります、他クラブとコミュニケーションを取る事により色々な考えや想いが浮かんできます。DBC、IBCを結ぶ事により、クラブだけではなく、自分自身の視野が広がり、自己研鑽にもなり、多くの友達、仲間が増えます。

ワイズメンズクラブは、自己研鑽の場だと私は思います、ワイズに入り、会長をさせていただき、色々な体験をさせて頂きました、苦手なスピーチも何とかこなせるようになりました。今思うと、しんどかった1年でもあり、楽しかった1年でした。私が、1年間会長職を務められたのも一重に三役・委員長はじめ我クラブメンバーやワイズメンのお陰と感謝します。本当に有難うございました。

次期森会長のもと、新たな気持ちでクラブライフを楽しみたいです。

6月例会案内

2日(水)
交流事業アワー
前期の東京サンライズとのDBCに始まり今期の東広島とのDBC、そして極近い将来ハワイ区のクラブとのIBCをにらんで、交流事業アワーが開催されます。

19日(土)
引継例会
いよいよ金丸会長期の引継例会、三役さん、会長の涙の見える引継をお願いしまっせ!

例会出席	
5月第1例会	11名
5月第2例会	10名
在籍者数	15名
出席率	80.0%
前回出席修正	

BFポイント	
切手	0pt
現金	0円
累計	28,050円

ニコニコ	
5月第1例会	5,000円
5月第2例会	0円
累計	85,000円

ファンド	
	0円
累計	307,965円

強調
月間

評価・計画

今年度の評価反省を的確にまとめて、やりたいことと出来ることを見つけましょう。そこから次の計画が生まれるでしょう。

西日本区理事 鈴木 誠也



今月の例会は異例の例会でした。「AEDの講習会」です。2時間半必要とのことで、会長挨拶が終わるや否や、すぐ食事。それも時間がありませんので早く済ませてくださいとのこと。

以前にも例会に来て頂き、AEDの話を聞いたような気が。しかし、今回は、この講習が終われば、全員に資格証が与えられるということで、真剣みが増してきます。2体のレサシアンが、床に置かれ、そのレサシアンに向かって、実地訓練です。人工呼吸や、マウスとマウスなどを各自が実際にやってみました。そして、AEDの使い方もやりました。

「まず最初は、その人の横について声掛けをやりませう。もしもし！もしもし！それで返事が無い。体を揺さぶってみませう。……」

講師の北消防署から来ていただいた、川北延博様からの話を聞き、実際の行動を順序立てて教わり、各自がやってみました。が、もし本当にそんな場面に出くわしたら本当に出来るのでしょうか？こっちのほうがお口お口して、パニックになってしまうのではという不安が拭い去れませんが、一度でもこんな体験しておく事がパニックにならずに済むのでは無いでしょうか。

一週間ほどしたら、本当にカードが来ました。やった～！

ちょっと変わった、面白い例会でした。ドライバーの皆さんありがとう。



連休明けの6日、私にとってはプリンスの連絡主事としての初めての例会でした。ほとんどの皆さんには以前より親しくしていただいていたので、全く初めてであるという気がしませんでした。

この第1例会は救急法です。京都市北消防署の警防課救急係長の川北延博（かわきたのぶひろ）消防司令をお招きしての普通救命講習会を行いました。指令を交えての楽しい会食もそこそこに、さっそく講習会です。2体のレサシアン（心肺蘇生用訓練マネキン）とAED（自動体外式除細動器）を使ってのCPR（心臓も動いていないと見られる人の救命へのチャンスを維持するために

行う呼吸及び循環の補助方法）とAEDの使用を実習しました。人工呼吸を2回した後30回の心臓マッサージを1セットとした蘇生方法です。蘇生法は何年かにその方法や手順が見直されていますが、最新では意識が無いことの確認のあと、軌道確保をしながら呼吸の確認をして無呼吸であると脈確認を省いて（無呼吸は心臓停止として）早急にCPRに入るという方法です。一刻も早く心臓マッサージに入るという方向なのです。また司令より口の周りの出血があった場合は感染を回避するために、汚物でどうしようもない場合も含めて30回の心臓マッサージを優先することを教えられました。そしてAEDの使い方の実習です。大きな電流を心臓方向に流して細動を起こして止まろうとしている心臓を再度動かそうとするものです。119番をすることが最も重要であり、AEDは最優先に使用することも教わりました。

日ごろこのような場面に接することは稀であります。いつでも身近な人を救うことができるように練習すること、そして安全への意識を高めることができ、メンバーも緊張しながら講習を受講していました。後日、司令より普通救命講習会の修了証を頂戴しました。



京都ZEROワイズメンズクラブ設立総会報告

2010年5月27日
廣井 武司



ホテル日航プリンセス京都において京都トゥーピークラブのスポンサーによる（仮）京都ZEROワイズメンズクラブの設立総会と、報告会、懇親会がもたれプリンスクラブから、金丸会長、久保田連絡主事、西村メネット主査と廣井が出席してきました。当日は西日本区EMC事業主任として設立総会の立会い人を依頼され、久しぶりに緊張した時間を過ごしました。そしてプリンスクラブの23年まへのことを思い出し、生き生きとした新クラブのメンバーの人たちに、当時のことがかさなってちょっと複雑な心境になりました。

久しぶりの京都に新しいクラブが誕生するとあって、又今期西日本区では初めての新クラブ設立総会とあって、西日本区理事をはじめ多くの来賓に囲まれての報告、懇親会となりました。

現在、17名でのスタートですが8月29日のチャーターナイトには30名のメンバーでと力強く決意表明された新クラブ高倉英理会長。その前途が楽しみなクラブがこの地に誕生しました。私たちもこのクラブにいい刺激をうけて歩んで行きたいものです。



5月第2例会は、もう6回目になった「かもがわチャリティーラン」が好天に恵まれ鴨川公園で開催されました。総司会の岡西さん・写真係の三村さんは本部や会場を飛び回り、小野Yサ委員長と金丸会長は競技運営のお手伝いで動いておられました。今年もプリンスクラブの出店は、ホットドッグです。続々とホットドッグができあがってきますが、次々に売れていきます。途中でパンに比べてソーセージの数が少ないことが判明し、ソーセージを半分に切ってマスタードなしで販売することになり値段は250円から100円に、最後にはソーセージ4分の1で50円まで下がりました。安くなったホットドッグが飛ぶように売れていく様は結構すごかったです。会場は多くの参加者や来場者で賑わっていました。

毎年恒例の盲導犬協会さんからも出店があり、今年から採用された食券制や盲導犬をテントの前に出してのアピールも効いて、グッズの売り上げが大きく伸びたようです。プリンスクラブから毎年行っている盲導犬協会への支援金の贈呈も行われました。また、ホットドッグの売り上げはYMCAへ寄付されました。5月らしい陽気の中、楽しい一日を過ごすことができました。



好天に恵まれて盛大に第6回京都YMCAかもがわチャリティーランが北大路橋から出雲路橋間の特設コースで行われました（クォーターマラソン 出町橋～北山橋間）。

チャリティーランの収益金は、YMCAで行われる障害のある子供達のキャンプ等の支援や障害のある子供達のプログラムの費用として使われます。例えば、障害のある子供達のキャンプを実施するには多額の費用がかかります。通常よりも多くのリーダー達やサポートする方々が必要となるからです。参加される方々の負担が軽減されればもっと多くの子供達が参加出来ます。もっと、数多くの方々に賛同頂いて収益が増えれば良いなと毎回願っております。我がクラブでは特設テントで、ホットドッグの販売と（財）関西盲導犬協会のご協力を頂いてのグッズ販売を致しました。盲導犬も駆けつけてくれて、盲導犬と参加頂いた方々との交流、盲導犬の必要性、盲導犬を育てる為に多くの方々の真心や費用が必要な事などを盲導犬を通して様々な方々にご理解頂けたことと思います。

メインのチャリティーランでは、子供から大人まで世代を超えて参加頂きました。金丸会長、小野Yサ委員長が、実行委員会に参加頂き、先頭に立っての計画と実行を頂いてプリンスクラブもスムーズに参加、ご奉仕する事が出来たと思います。有り難うございました。ホットドッグの販売も含めて、クラブメンバー、メネットさん方やコメント達が一緒に楽しく時間を共有する事が出来たと思います。

次期もこの京都YMCAかもがわチャリティーランをプリンスクラブのYサ事業のメイン行事として、この活動を通してYMCAや地域社会に少しでも奉仕貢献し、地域の方々に、YMCAとワイズメンズクラブの存在や活動をよりご理解頂いて、ご賛同頂けたらと非常に素晴らしい事と強く思います。ご参加頂いた皆様、メイン司会の岡西委員、本当にご苦労様でした。



メンバー自己紹介コーナー 小野 敏明です



プリンスクラブの小野と申します。縁あってワイズメンズクラブに入会して今年で3年目。クラブでは先輩諸氏に可愛がっていただき、楽しくワイズ活動に参加させて頂いています。京都生まれの京都育ち。子供の頃から物づくりに没頭し、また古いもの【ビンテージ】が大好物。その流れは大人になっても変わらず、現在は主に古い京町家の再生に日々取り組んでいます。趣味が高じて、築90年程度の町家を購入し自宅用に再生。夢であった伝統建築での生活が実現し、今は暫し抜け殻状態・・・。

25歳からの約2年間は海外青年協力隊に参加し海外生活。場所は西アフリカの【象牙海岸共和国（コートジボアール）】であまり日本人には馴染みのない土地での生活。上記の如く、アフリカでは伝統的な建築の再生に取り組んでいました。アフリカでの生活で今までの価値観が一変。日本のよさを実感できた反面、日本の問題点を再認識する大変貴重な経験でした。

今までの経験を、どれだけワイズで生かせるかは未知数ですが、出来る限りのことは実践していきたいと考えています。若輩ものですが、今後ともよろしくお願ひします。



梅雨入りを思わせる、あ目の降り続く日曜日でしたが、5月23,24日つ二日間にわたり、宇治リトリートセンターで、今期のEMC交流会と次期の役員研修会が行われました。メンバー数が12名となった今、従来の委員会制ではなく全員が委員長となる全員参加型の新形式の委員会構成となりました。土曜日の夜のEMC交流会は、天候も良くアルコールとバーベキューの夕食でおおいに盛り上がりました。日曜日は打って変わり4月中旬を思わせる肌寒い1日となりましたが、その反面研修会においては新しい形式に向けて暑い意見交換が行われました。現在のメンバー数に合ったゼロベースの事業計画の立案と次期森会長のモットー”子供の未来のために”に繋がる、各委員長の思いが反映された事業計画案が出来上がり、次期に向けての各メンバーの思いが伝わってきたように思います。日曜日を1日つぶしての研修会でしたが、仲間で語る事の大切さと楽しさを感じ、充実感を得る事が出来た1日でした。ただやはり気になるのが新メンバーを迎えたときの現メンバーとのギャップです。新しい仲間を迎えたときの第一目標として改善していかなばならないと思います。



今期EMC委員長の私は、EMC懇親会と一泊研修会を事業計画に挙げていました。そして次期会長でもある私には、次期役員研修会を開催する時期が来ていました。そこでそれらをコラボレーションさせることを思いつき、前夜にEMC懇親会を、そして翌日に研修会をということで、比較的安い費用で開催可能な施設を探していたところ、数年前に新しく研修棟と宿泊棟が完成したリトセンが、全ての要求を満たしている施設である事に気づきました。

EMC懇親会は土曜日の夕方から生ビールとバーベキューで、そして翌日曜日は、朝から夕方まで次期役員研修会を行いました。

今、プリンスクラブは瀬戸際に立たされている。次期はメンバー数12人でのスタート。各委員会に委員長を割り当てると、メンバー全員が委員長。この状況は危機的な状況の様にも見えるけど、全員が一丸となってクラブ運営に携われる好機でもあると私は思っています。次期のテーマは「メンバー倍増」ただそれだけ。

朝8時半、次期会長主題「豊かな心を求めて、YMCAと共に」の説明から始めました。そして副題は「Aim for double」、実は副題が来期の達成目的です。その命題をメンバー一人ひとりの心の奥に届けるために1時間以上、私一人で喋りました。この私の思いが12人の心に届けば、今回の研修会は成果ありです。その後、西日本区作成の「クラブ運営マニュアル」と「事務手続きの手引き」を、確認し合いレクチャーはここまで。11時からは「プリンスでやりたい夢」をテーマに3つのグループに分かれて座談会をし、グループ毎に発表をしてもらいました。

昼食は、三村君の独り舞台。昨夜のバーベキューの残り食材を使って、そば飯を作ってくれました。お腹が膨れたところで、まず年間スケジュール案を発表し検討しました。そしてグループに分かれて事業計画案の作成作業。決まった事は、その場でパソコンに入力して事業計画案を作成しました。その後、各事業計画案について審議がなされて仮承認となり、午後4時半に研修会は終了しました。みんな少し疲れた様子でしたが、充実感も感じてくれていた様に思へ、達成目標の「Aim for double」もそれほど難しい命題ではないのかなあと考えた次第でした。一泊2日の懇親会&研修会、みなさんご苦労様でした。



東京サンライズクラブからの報告 (小山久恵より)

5月8日(土)～9日(日)に山中ワークを行いました。今年は他クラブからの参加者もなく、サンライズクラブのメンバーのみ、それも例年参加の人たちが何人も来れなくて、わずか10人しか集まりませんでした。(その中に担当主事の星住さんと奥様、彼らのベイビーが含まれています)何年も前まではいろいろなクラブのメンバーが大挙していらして下さり、大きな仕事を成し遂げていたのですが、東広島の佐々木集子さんや京都プリンスの岡西さんにも手伝って頂いたことがあります。今回は手すりのペンキぬりだけ。あっという間に仕上げ、草むしりでお茶を濁しました。今年はたいして労力を使わなかったのに、今までになくそれはそれは豪華な食事が供され、一同大感激でした。



今期中のDBC締結を目指しての東広島クラブとの交流会が、5月5日の午後6時より廣井ワイズのログハウスで開催されました。昨年10月、広島西条酒まつりでの東京サンライズクラブとの交流会において、毎年参加される東広島との顔合わせということで、当クラブの金丸会長、金丸メネット会長、岡西交流委員長とメネットが参加訪問されました。東広島の谷本ワイズが西日本区交流事業主任ということもあって、6月の西日本区大会で、ぜひDBC締結式をという話になりました。そして、顔を合わせてのお見合いを交互にということで、今度は京都でということになり、プリンスの第一例会のファミリー例会にお誘いしたのですが、ご都合がつかず今回の運びとなりました。この日に決まったのは、谷本ワイズとメネットがウエストクラブ30周年記念例会に出席される為です。

参加者は、谷本ワイズとメネット、そして今回お世話になるだろう京都部交流事業主査片山ワイズと、プリンスメンバー7人とメネット3人の計13人でした。6時からということで、食事をとりながらの雑談が何回も飛び込んでくる打ちとけた会となりました。会は、これまでの経緯を岡西委員長より説明があり、打ち合わせが始まりました。両クラブ共に東京サンライズとDBCを結んでいることもあって話はスムーズに進み、交流方法についてはお互いに活発に意見交換し合いました。交流としては、制約は設けず年一回程の交流から始めようということになりました。

プリンスでは、翌日の5月第一例会における臨時総会での承認が前提となることを申し上げ、順調にいけば、東広島の希望通り西日本区大会でのDBC締結式が実現出来ることを約束して、散会となりました。



京都ウエストワイズメンズクラブ30周年記念例会

2010年5月5日
西村 寛子



五月晴れの元、ウエストクラブの記念例会が緑鮮やかな「しょうざん」において開催された。さすが京都の老舗クラブ、ワイズメンズクラブ国際協会日本区の東西を問わず多くのワイズメンがお祝いに駆けつけられ、盛大にその30周年が祝われた。我がプリンスクラブからも金丸会長をはじめ5名が参加した。

記念式典では、ウエストクラブの30年の足跡が紹介され、脈々と続くクラブの歴史や伝統の重さを感じずにはいられなかった。30年を通して多くの区理事や部役員を輩出され、ワイズダム精神を大切に継続事業に取り組み成果をあげ、また今尚、地域密着型の『竹林ワーク』など積極的な取り組みで活動を続けておられるご様子には見習うべき点が多いと感じた。30周年を記念してのYMCAへの多額の献金など大いに意気軒高なところを示された。

その後、祝宴会場を屋外へと移され、盛りだくさんのエンターテイメントとおいしいお料理で参加者をおもてなし下さった。そして、何よりのおもてなしは京都ウエストワイズメンズクラブメン・メネットお一人お一人の温かいお心遣いと明るい笑顔に尽きた。少々暑い日ではあったが、さわやかな風の流れる緑の中で楽しいひと時を過ごさせていただいたことに感謝である。

京都ウエストワイズメンズクラブの今後益々のご発展をお祈りすると共に、我がプリンスクラブもしっかりと後に続いていけるよう願わずには居られない。



YMCAって何してるの？ どんな人が居るの？

京都Y M C A本部事務局
加藤俊明



プリンスワイズメンズクラブの皆様には連絡主事としてお世話になりました。2009年4月から本部事務局で事務局長として本部、会員の業務と、また館長として館総務を担当しています。館総務としての仕事はそれこそ業者の対応から、会館のメンテナンス関係、修繕、自転車整理と雑用も多いのですが事業部門を側面から補助する大切な仕事です。本部の仕事は主に、会員関係のことと法人業務が主な仕事です。本部に移ってからとにかく夜の会合が増えました。(飲み会のことではありません。)

Y M C Aは、ご存知のようにその運営をスタッフだけでなく会員が担って行っています。本部はその会員活動を進める役割をもっており、その関係で法人関係の会合や協議の機会が増えました。財団法人の理事会・常議員会、学校法人の理事会・評議員会に始まり常置委員会の「Y M C A活動委員会」と「総務委員会」、会員活動の企画・準備・運営を行なう「活動推進専門委員会」などの専門委員会、「公益法人タスク」、特別委員会など会員活動に関わる各種の委員会や会合が毎週のように入ってきます。またワイズメンズクラブにおいても京都部の統括連絡主事という立場になり、これと違ってワイズ関係での広がりもできました。

またそれ以外に、外部団体の仕事も増えました。車イス駅伝の関係で「ユース21」などの役割や専門学校関係の団体での役割もありましたが、本部に来ると、キリスト教関係や総主事ほど多くはないですが関連諸団体の委員や評議員などがまわってきました。おかげでY M C Aが他の団体からどの様に見られているのかを知ることができると同時に他の団体から学ぶ点も多く勉強だと思いい内容もよくわからないままに出ています。

事業の現場を持っていたときと比べ事務的なことが多いですが、会員活動など新たな側面を発見させていた

1. YMCAサマープログラム参加者募集!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

キャンプ、デイキャンプ

会員 6月8日(火)~9日(水) 午前10時~午後7時
 会員・一般 6月10日(木)~ 午前10時~午後7時
 電話(075)231-4388(お問合せも左記電話まで)
 会員先行申し込み期間の6月8日(火)~9日(水)の期間に限り電話に加えFAX・Eメールでもお申し込みいただけます。

FAX(075)251-0970

Eメール campmoushikomi@kyotoymca.or.jp

短期集中スイミングスクール、鉄棒・とび箱が好きな教室

会員 6月11日(金) 午前10時~
 会員・一般 6月11日(金) 午後2時~
 電話 075-255-4709(お問合せも左記電話まで)

2. 京都YMCAリトリートセンター夏季準備ワークご協力をお願い

夏季利用の前の準備ワークを下記日程で予定しております。利用者が快適に、活動できるよう準備したくご協力の程よろしくお願いたします。

実施日 2010年6月27日(日)

集合 午前9時30分 解散 午後3時頃

内容 草刈・施設清掃・整備など

お問合せ 京都YMCAリトリートセンター事務局

中村 電話(075)231-4388

詳細につきましては改めてご案内させていただきます。

3. 京都YMCAサバエ教育キャンプ場設営ワークご協力のお願い

サマーキャンプの季節が近づいてきました。たくさん子ども達がサバエ教育キャンプ場で貴重なひと時を過ごし、成長する事が出来るのも長年にわたるワイズメンズクラブの皆様のお支えの賜物と感謝致しております。今年も以下の日程で設営ワークを予定しております。皆様のご協力をお願いいたします。

実施日 2010年7月4日(日)、7月11日(日)

集合 午前8時30分(サバエ教育キャンプ場)

解散 午後3時(サバエ教育キャンプ場)

昼食をYMCAで用意させていただきます。

まもなく詳しい案内を各クラブにお配りします。恐れ入りますが、ご参加いただく人数を6月19日(土)までにYMCAサバエキャンプ場 担当廣田までお知らせください。

電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970

4. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第41回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 6月19日(土) 午後7時~9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円

お申込は京都YMCA 電話(075)231-4388または vb@kyotoymca.or.jp

Happy Birthday

June

該当者なし

今月のスケジュール

6月

- 2日(水) 第一例会 グランドプリンスH
- 5日(土) 東日本区大会
- ~6日(日) 富士急ハイランドホテル
- 12日(土) 西日本区大会 広島国際会議場
- ~13日(日) 広島リーガールoyalホテル
- 19日(土) 引継例会 グランドプリンスH
- 30日(水) 役員会 京都YMCA

臨時総会報告

<承認された議案>

西日本区大会にて東広島クラブとDBC締結
 国際大会登録費半額(25,000円)補助
 次期二ニコ会計より拠出する

役員会報告

<承認された議案>

古川安雄ワイズ6月末にて退会
 引継例会登録費 メン:無料
 メネット・コメント大5,000円 ゲスト8,000円
 メンバー候補6,000円 広義会員4,000円
 東日本区大会参加補助(8500円)
 交流委員会費より拠出

次期役員配属

会 長	森 伸二郎	メネット会長	森 節子
直前会長	金丸太一郎	次期会長	岡西 博司
副 会 長	三村 良行	副 会 長	小泉 洋
書 記	岡西 博司	会 計	永濱 貴章
YMCAサービズ	金丸太一郎	地域奉仕	三木 貴夫
交 流	西村 博	広 報	西堀 和之
ファン	保 明彦	ブリテン	北野 功治
EMC	廣井 武司	ドライバー	小野 敏明
25周年記念	毛利 隆志	連絡主事	久保田展史

From Editorial

今期一年間、メンバーの皆様には、たびたびの原稿依頼を快く(?)受けて頂き感謝です。今期は、私のワイズでの繋がりを利用させていただき、巻頭記事をいろいろな方々にお願いさせて頂きました。私自身が言うのはおかしいのですが、本当に良い巻頭記事が出来たように自負しています。

広報委員長を拝命した時には、どうしようと思ったのですが、だんだんとやっているうちに面白くなってきました。文章を書く事もそんなに苦痛でなくなりました。まだまだ文章は幼稚なものですが、本当に良い訓練の場になったように思います。

ブリテンは、ある意味「クラブの顔」であると思っています。今年のクラブはどんな顔だったのでしょうか? より良い顔になって、次期に繋がって行く事を心より願っています。一年間、本当にありがとう御座いました。